

アジアにおける金融事業の拡大に向けて 積極的なM&Aを推進

Jトラストグループは、東南アジアにおける金融事業の拡充を成長戦略のひとつと位置づけ、インドネシアにおいて、Jトラスト銀行インドネシア(BJI)による銀行業務、Jトラストインベストメンツインドネシア(JTII)による債権回収業務を展開しています。今後は、インドネシアのファイナンス会社買収やカンボジアの商業銀行取得を足掛かりに事業を拡大していきたいと考えています。

インドネシア マルチファイナンス会社の買収を発表

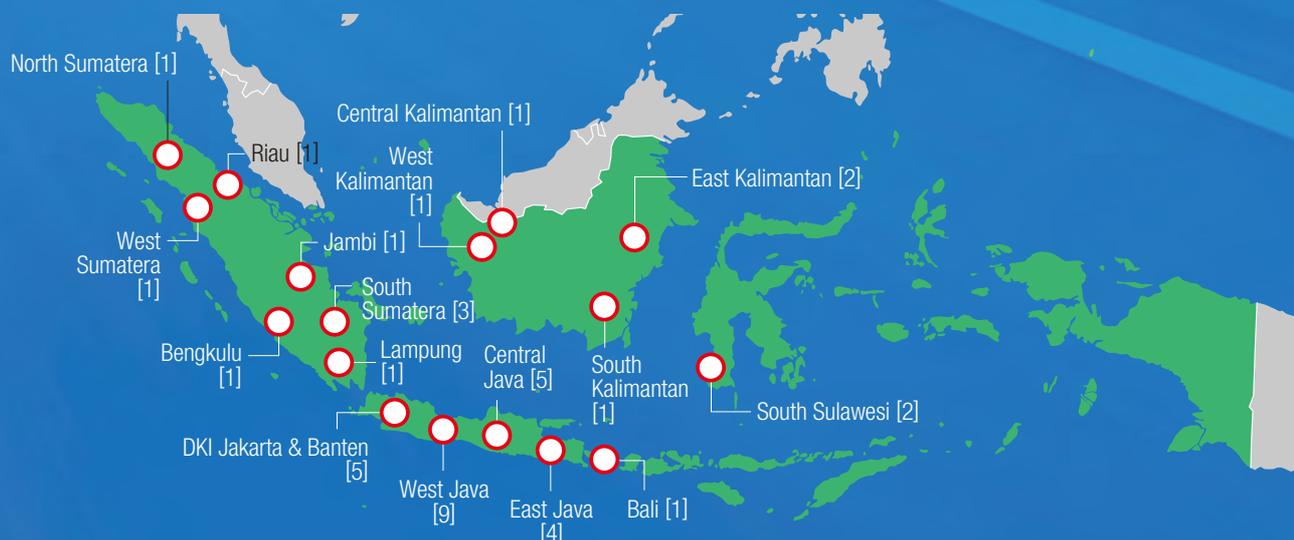
当社グループは、2018年4月、ファイナンス事業の拡大に向けて、PT. OLYMPINDO MULTI FINANCE (OMF)の株式60.0%を取得し、当社の連結子会社とする契約を締結しました。OMFは、1974年に創業したマルチファイナンス会社であり、インドネシア全土で40の支店を展開しているほか(2018年3月時点)、オートローン業界の老舗として、自動車ディーラー業界や大手銀行を含む取引金融機関との豊富なネットワークを有しています。今後、OMFは当社グループのブランド力のもと、農機具を対象としたファイナンスやマイクロファイナンスといった新商品の取扱いによりファイナン

ス事業の規模・領域の拡大を進めるとともに、金融やITで培った当社グループのノウハウを活かして生産性の向上を図ります。

当社グループは、OMFを傘下に加えれば、銀行・債権回収・ファイナンスの三位一体の事業体制を確立できることとなります。これにより、BJIは、今後OMFが新たに設置する営業拠点を活かして、営業エリアの拡大や集客力の向上が可能になります。またJTIIは、OMFの金融機関ネットワークを通じて、資金調達先の確保や債権買取機会の拡大につなげられるなど、大きなシナジー効果が期待できます。

PT. OLYMPINDO MULTI FINANCE拠点

(2018年3月末時点40店舗を展開)



カンボジア 商業銀行の株式取得を発表

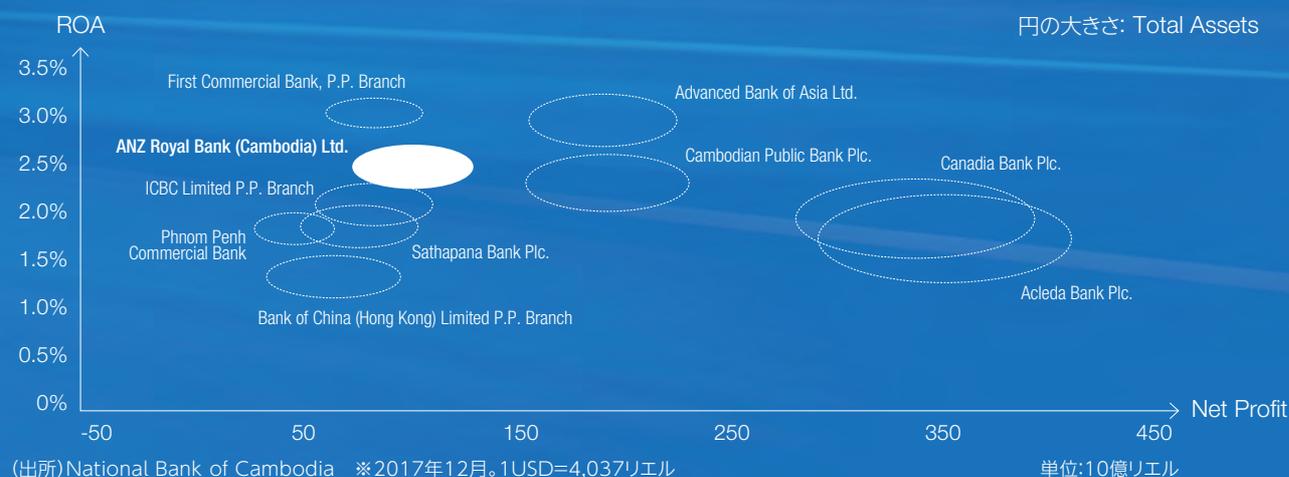
当社グループは、経済成長著しいカンボジアの商業銀行ANZ Royal Bank (Cambodia) Ltd.(ANZR)の発行済株式55.0%を取得する契約を2018年5月に締結しました。これにより、当社グループは東南アジアにおいて、インドネシアのBJIに続く新たな商業銀行を取得することになります。

ANZRは2005年に設立され、カンボジアの銀行部門の総資産ランキングで2017年には第7位の商業銀行であり、カンボジア国内の上位1%の優良企業と、上位5%の富裕層を顧客対象とする低リスク市場をターゲットとした事業を展開しています。株式取得後は、これまでの事業の一層の成長を図りつつ、当社グループが培ってきた金融事業のノウハウを活かしながら、リ



テール分野のターゲット市場を、市場規模が大きく潜在成長力の大きいセグメントまで拡大することを目指していきます。また、ANZRをプラットフォームとして、ミャンマーやラオスなどメコン地域における事業拡大の拠点とすることも視野に入れていきます。

カンボジアの大手商業銀行



モンゴル ファイナンス事業を開始

当社グループは、2018年5月、モンゴルにおけるファイナンス事業の拡大に向けて、ウランバートル市で事業を展開しているCapital Continent Investment NBF (CCI)の発行済株式100%を取得しました。

CCIは2014年に設立され、2018年3月までの4年間で貸出残高を約11億円に伸張させるなど、着実に事業規模を拡大しています。モンゴルにおけるファイナ

ンス市場には上限金利に関する規制がなく、法人税も日本に比べて低いなどのメリットがあります。CCIは今後、上場会社である当社の子会社となることで信用力を高めるとともに、当社グループが培ってきた金融事業のノウハウを活かすことで、モンゴルにおけるナンバーワンファイナンスカンパニーを目指します。